

JAPAN POWER FASTENING

日本パワーファスニング株式会社
第52期事業のご報告



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

第52期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)の事業のご報告を行うにあたりまして、株主の皆さまのいつに変わらぬご理解と温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、当事業年度における日本経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により1～3月期は個人消費中心に高い成長率を達成しましたが、駆け込み需要の反動減から4～6月、7～9月と2四半期連続でマイナス成長となるなど停滞感が強く表れました。特に当社グループの業績に関連の深い建築市場におきましては、年間の新設住宅着工戸数が前年に比べ9.0%減少するなど駆け込み需要の反動減が予想以上に大きく、低調に推移しました。

このような経済・金融環境のもと、当社グループは総合ファスニングメーカーとして作業性、耐久性、耐震性等付加価値の高い製品の開発・販売に引き続き取り組むとともに、比較的堅調な一般建築物への拡販に努めてまいりました。しかしながら住宅向けの落ち込みをカバーするには至らず、当連結会計年度の売上高は8,434百万円と前期に比べ4.3%の減収となりました。売上減に

加えて、急激な円安や労務費増加等により中国生産拠点のコストが増加したことや、中国の関連会社(不動産開発)による投資利益が前期に比べ大幅に減少したことで、誠に遺憾ながら当期純損益は245百万円の損失計上となりました。

株主の皆さまには、大変ご心配をおかけして申し訳ございません。

駆け込み需要の反動減は徐々に収まっていくことが期待されますが、中長期的には少子高齢化の進展や人口減少により厳しい事業環境が続くと予想されます。当社としましては市場拡大が見込まれるリフォーム・改修市場のさらなる開拓や、中国の現地向け販売の強化により新築住宅依存の収益構造からの転換をはかるとともに、グループ全体で原価低減活動を強力に進め、全社一丸となって業績回復に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これからも引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役社長 **土肥智雄**

建築用ファスナーのトップメーカーとして 最適かつ安全・安心なファスニング製品を提供し、 皆さまの快適な生活をサポートしてまいります。

建築用ファスナー及びツール

鋼材、木材、コンクリート、石膏ボード、ALC(軽量気泡コンクリート)に対応したさまざまなファスニング製品を提供しています。



住宅用金物

大手住宅メーカー向けに、プレハブ住宅をはじめとした鋼構造住宅の部材接合に用いられる金物を提供しています。



自動車・家電用部品

中国国内で日系メーカーへ自動車・家電用部品を提供しています。



ソーラーパネル組立

これまでに培ったファスナーの製造技術、ノウハウを活かし、平成22年1月よりソーラーパネルの組立生産を行っています。



TOPICS 01 展示会への出展により、 当社製品のPRに努めています

当社は平成26年度、JPFブランドの認知度のアップならびに製品PR・新市場開拓のため、3つの展示会に出展いたしました。いずれの展示会においても、より多くのお客さまから当社に興味を持っていただけるよう、出展する製品、ブースの構成に工夫をこらし、多くのお客さまに立ち寄りいただきました。

開催日	展示会名	会場	内容
H26 8/28~30	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW	幕張メッセ	大工道具、日用消耗品、カー用品他、ホームセンターで扱う幅広い商品を一堂に集める住生活に関する総合展示会
H26 11/12~14	Japan Home&Building Show	東京ビッグサイト	住宅メーカー、工務店、リフォーム業者、内装業者などを対象とした住宅建材・部材・設備・サービスの専門展示会
初出展! H26 11/20~21	ハイウェイクテクノフェア	東京ビッグサイト	高速道路の建設・管理技術の普及や活用を促進するとともに、高速道路事業への社会の理解を得ることを目的とした専門展示会

JAPAN DIY HOMECENTER SHOW



ホームセンタールートの拡充を目指して整備した戦略商品である「ハーフボックス」、「クールパック」、「キュートパック」を全国にPRすることを目的に出展し、当社の豊富な小口パッケージ商品のバリエーションを主要なホームセンターのバイヤーにアピールすることができました。



▲ハーフボックス ▲クールパック ▲キュートパック

Japan Home & Building Show



これまで、一部のお客さまにのみ販売していた商品を木造住宅業界全体に向けてPRするために出展いたしました。

当社オリジナル商品である「タップスタッド」、「タルキモックス」を使用した木造住宅建築向けの新たな工法を紹介し、お客さまから好評を得られました。



▲タップスタッド

▲タルキモックス

ハイウェイクテクノフェア



土木業界に対する本格的な市場調査を目的に出展し、これまでの建築業界での営業では接点のなかった企業様への足掛かりを得ることができました。

特に、当社主力商品であるコンクリート用アンカー「タップスター」が、土木業界においても需要があることが確認できたため、今後は同業界の市場開拓を進めてまいります。

TOPICS

02 製品改良事例 ～ボードテック®ヒラサラ～

平成26年9月、当社は新しい製品ラインナップとして「ボードテック®ヒラサラ」の販売を開始いたしました。
この製品は、主に鋼板の留め付けに使用される製品で、同用途の従来品の頭部は“シンワッシャー”と呼ばれる形状でしたが、鋼板を相手材にしっかりと固定し、かつ施工面を面一に上げるため、“ヒラサラ”形状に変更いたしました。



▲シンワッシャー



▲ヒラサラ

製品の特長

- ★ 十字穴を最大限まで深くして、優れたビットとビスの嵌合を実現し、施工性アップ!
- ★ 首下の厚みを確保し、頭飛び防止!
- ★ ヒラサラ形状により施工面を面一に仕上げ、意匠性アップ!

製品の仕様

スチール製、ステンレス製 計9品種



▲スバンドレル鉄骨下地留め



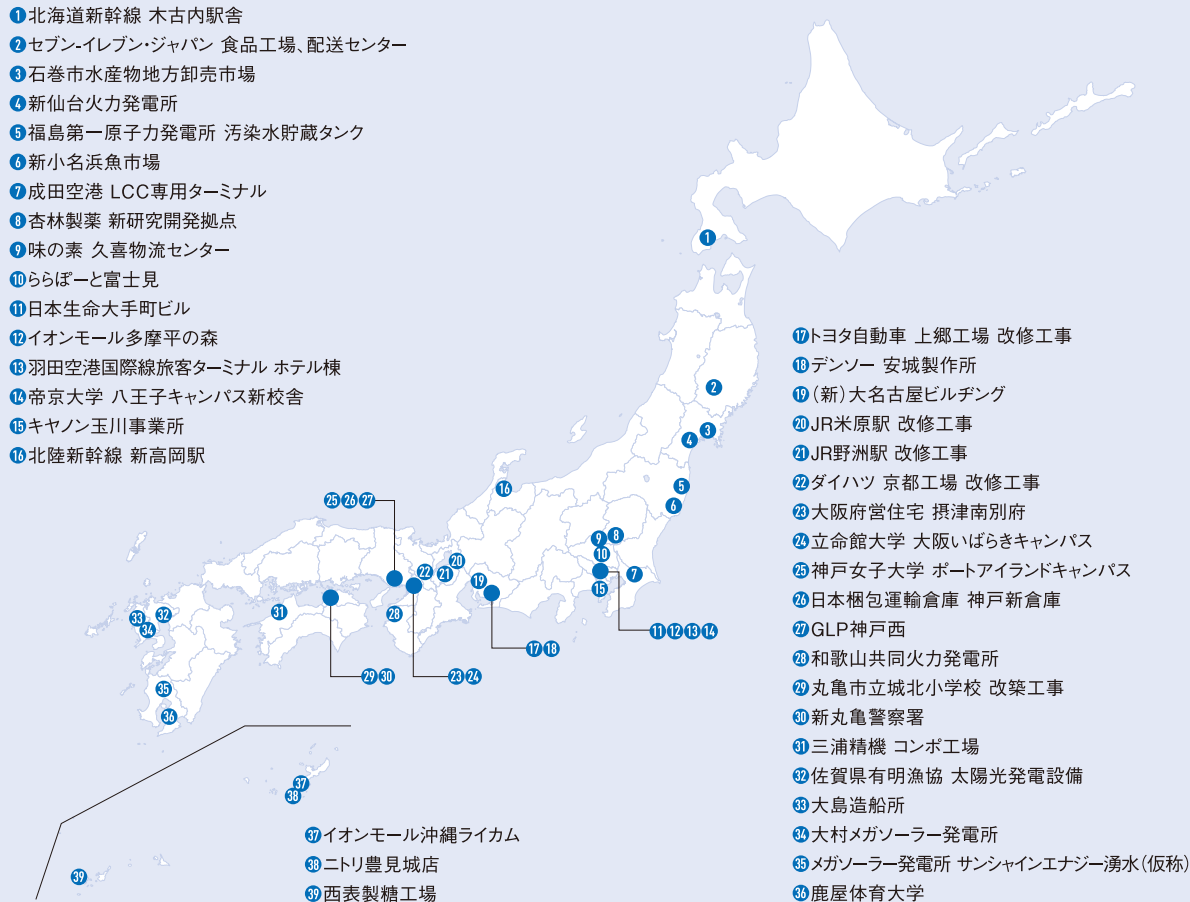
▲鉄骨下地横葺屋根 金属垂木留め

お客さまからご好評をいただき、すでに多くの現場でご採用いただいております。

今後も、当社はお客さまのニーズを把握し、製品に反映させることによって他社との差別化を図り、社会に求められる製品を提供してまいります。

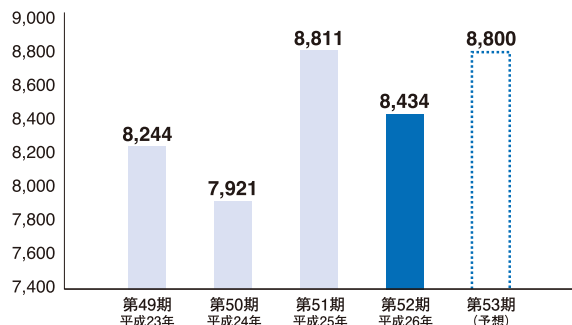
平成26年度に、当社製品が採用された物件を日本地図上にまとめました。

大学の校舎やショッピングセンター、物流倉庫など大型物件の新築工事のみならず、工場や駅の改修工事など、全国各地、さまざまな場所で当社の製品が活躍しています。今後も、当社は総合ファスニングメーカーとして、施工性・耐久性・耐震性に優れ、建物の価値向上に貢献する製品を提供し、皆さまの快適な暮らしづくりを支えてまいります。



売上高

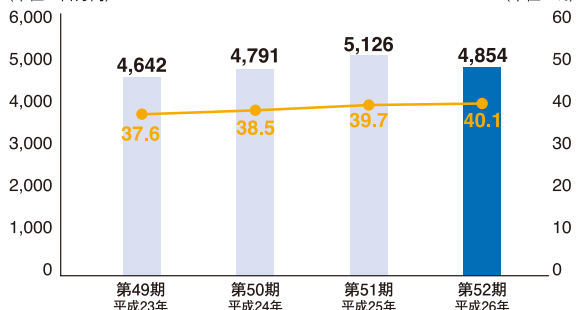
(単位：百万円)



純資産／自己資本比率

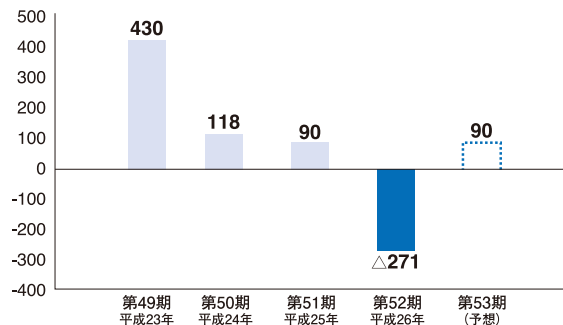
(単位：百万円)

(単位：%)



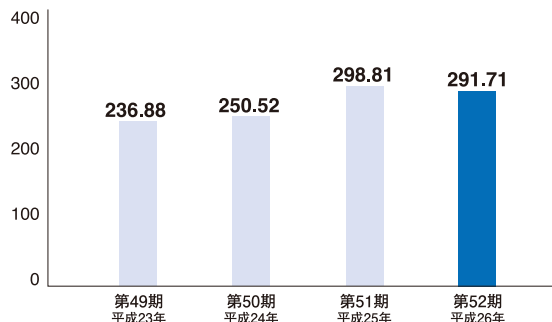
営業利益

(単位：百万円)



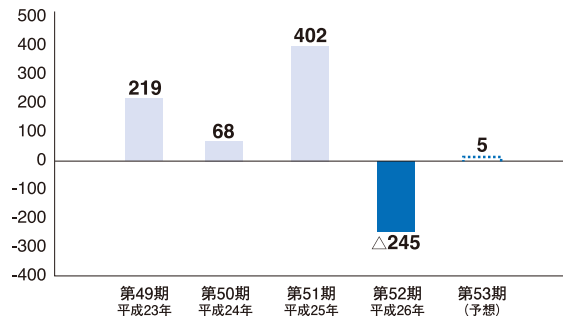
1株あたり純資産

(単位：円)



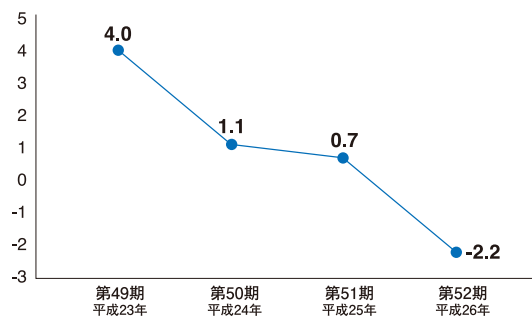
当期純利益

(単位：百万円)



ROA (総資産営業利益率)

(単位：%)



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	〔平成26年 1月 1日から 平成26年12月31日まで〕	〔平成25年 1月 1日から 平成25年12月31日まで〕
売 上 高	8,434	8,811
売上原価	6,724	6,765
売上総利益	1,709	2,046
販売費及び一般管理費	1,980	1,956
営業利益又は営業損失(△)	△ 271	90
営業外収益	220	514
営業外費用	127	99
経常利益又は経常損失(△)	△ 178	504
特別利益	-	-
特別損失	1	1
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△ 180	503
法人税等	65	47
少数株主損益調整前当期純利益又は純損失(△)	△ 245	455
少数株主利益	-	53
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 245	402

1 売上高

4.3%減

売上高は、前期比377百万円(4.3%)の減収となりました。うち、建築用ファスナー及びツール関連事業が前期比451百万円減収の7,802百万円、自動車・家電等部品関連事業が前期比75百万円増収の620百万円となりました。

2 営業損失

271百万円

売上の減少に加えて、急激な円安や労務費増加・環境負荷の低減対策等により中国現地法人の製造コストが膨らんだ結果、271百万円の営業損失となりました。

3 経常損失

178百万円

中国の関連会社(不動産事業)の持分法による投資利益が前期に比べて267百万円減少したことなどで、178百万円の経常損失となりました。

4 当期純損失

245百万円

上記までの要因に加え繰延税金資産の取り崩しなどで、245百万円の純損失となりました。

④ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成26年12月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年12月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成26年12月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年12月31日現在)
◎ 資産の部			◎ 負債の部		
流動資産	6,159	7,326	流動負債	4,893	4,927
固定資産	5,953	5,596	固定負債	2,364	2,869
有形固定資産	3,875	4,018	負債合計	7,257	7,796
無形固定資産	193	199	◎ 純資産の部		
投資その他の資産	1,885	1,378	株主資本	3,987	4,502
資産合計	12,112	12,922	その他の包括利益累計額	867	623
			純資産合計	4,854	5,126
			負債・純資産合計	12,112	12,922

⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円、△は減少)

科 目	当連結会計年度 [平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで]	前連結会計年度 [平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	341	616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 169	△ 1,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 799	769
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	21
現金及び現金同等物の増減額	△ 602	270
現金及び現金同等物の期首残高	1,241	971
現金及び現金同等物の期末残高	638	1,241

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失でありましたが、減価償却費等の非資金項目の戻し入れ及び配当金の受け取り等により、営業活動によるキャッシュ・フローは341百万円の収入(前期は616百万円の収入)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の解約による収入はありましたが、有形固定資産の取得や貸付金の貸し出し等により、投資活動によるキャッシュ・フローは169百万円の支出(前期は1,138百万円の支出)となりました。

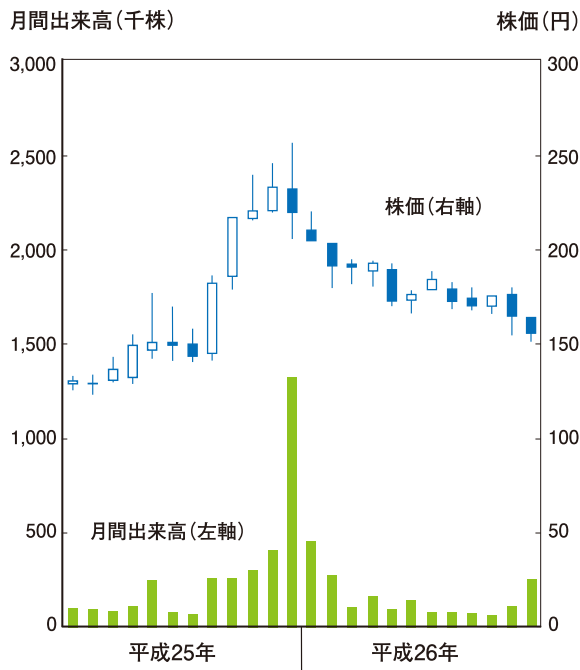
7 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済及び配当金の支払等により、財務活動によるキャッシュ・フローは799百万円の支出(前期は769百万円の収入)となりました。

株式の状況

- 発行可能株式総数 39,800,000 株
- 発行済株式の総数 18,688,540 株
- 単元株式数 1,000 株
- 株主数 1,642 名

株価の推移

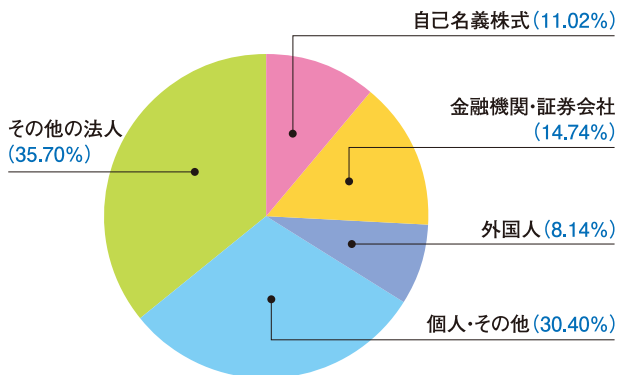


大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(単位:千株)	持株比率
積水ハウス株式会社	3,877	23.30%
土肥智雄	1,510	9.07%
土肥雄治	1,504	9.04%
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	1,000	6.01%
株式会社みずほ銀行	766	4.61%
株式会社池田泉州銀行	762	4.58%
株式会社滋賀銀行	753	4.53%
木田芳佑	448	2.69%
日本生命保険相互会社	346	2.08%
モリテックスチール株式会社	212	1.28%

※1 自己株式を2,045千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 単元単位で計算しております



■ JPFグループネットワーク

■ 日本パワーファスニング株式会社

設立 : 昭和39年4月21日(登記上は昭和26年3月26日)

資本金 : 2,550百万円

事業内容 : 建築用ファスナー及びツールの製造・販売

本社住所 : 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番90号

従業員数 : 221名

営業拠点 : 仙台・北関東・東京・静岡・名古屋・富山・
滋賀・大阪・山口・福岡

事業所 : 北関東・滋賀

工場 : 下館・豊岡

■ 役員

取締役会長 : 土肥 雄治

代表取締役社長 : 土肥 智雄

取締役専務執行役員 : 大塚 孝幸

取締役常務執行役員 : 小西 良幸

常勤監査役 : 村田 定雄

社外監査役 : 本郷 修

美濃浦 利夫

常務執行役員 : 小山 昇

山極 幸雄

執行役員 : 川端 満

海保 好秀

中国(香港)現地法人

■ Japan Power Fastening Hong Kong Limited

資本金 : 127,978千香港ドル

事業内容 : 中国連結子会社の統括・管理支援

本社住所 : 中華人民共和国 香港特別行政区

中国現地法人

■ 蘇州強力五金有限公司

資本金 : 11,400千USDドル

事業内容 : 金属製品製造・販売

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人

■ 蘇州強力電鍍有限公司

資本金 : 1,150千USDドル

事業内容 : 表面処理及び鍍金加工

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人


■ 蘇州強力住宅組件有限公司

資本金 : 500百万円

事業内容 : 住宅用資材及び部品の製造・販売

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

株主メモ

● 事業年度末	毎年 12月31日
● 定時株主総会	毎年 3月
● 期末配当受領株主確定日	毎年 12月31日
● 中間配当受領株主確定日	毎年 6月30日
● 株主名簿管理人及び特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ	 0120-288-324 (通話料無料) http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
● 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
● 証券コード	5950
● 公告掲載方法	日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する諸手続きについて

- 当社株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株の買取請求、姓名等の変更等)につきましては、口座を開設されている証券会社にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(みずほ信託銀行株式会社)にお申し出ください。
- 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人(みずほ信託銀行本支店)にお申し出ください。